

製品安全性データシート (MSDS)

品名 漂白剤

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 漂白剤

会社名 株式会社つやげん

住所 〒145-0075 東京都大田区西嶺町 13--9

担当部門 : 鶴見工場 担当者: 後藤正男

電話番号: 03-5741-8011 /代表 045-585-3912 /鶴見工場

緊急連絡先: 045-585-3912

※通常のお問い合わせは、(株)つやげん 代表番号: 03-5741-8011 にお願ひ致します。

整理 番号:

作成: 2012年 1月 16日

2. 組成、成分情報

単一製品、混合物の区分 混合物

品名 漂白剤

成分 亜塩素酸ナトリウム 6%

化学式又は構造式 NaClO_2

官報公示整理番号(化審法) 既存化学物質1-238

CAS No. 7758-19-2

国連分類 8 腐食性物質

国連番号 1908 (有効塩素5%以上)

3. 危険有害性の要約

分類の名称 腐食性物質

危険性 酸化力が強く、可燃性物質や有機物に激しく作用して爆発の危険性がある。

有害性 溶液は皮膚、組織を強く刺激する。

■GHSラベル要素

: 警告



4. 応急処置

眼に入った場合 清浄な流水で最低15分間、眼を洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受ける。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行き渡るように洗浄する。

皮膚に付着した場合 製品に触れた部分は直ちに充分水洗いする。

吸入した場合 活性化後、発生した二酸化塩素ガスを多量に吸入した場合は、直ちに清浄な場所に移し安静にさせ、意識が明瞭なならばブドウ酒、ウイスキー等を少量与える。

飲み込んだ場合 食塩水、微温石鹼水を飲ませて、吐き出させ直ちに医師の手当てを受ける。

頭痛などの症状が現れた場合 直ちに医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消化方法 遠隔から大量放水をする。それ自体から酸素を放出するので空気を遮断する方法は効果がない。爆発の危険があるので、近寄ってはいけない。

消火剤 大量の水

6. 漏出時の措置

少量であれば速やかに大量の水で洗浄する。量の多い時は、亜硫酸ナトリウム (Na_2SO_3) の水溶液で中和し大量の水で洗浄する。

処理剤として粉体の亜硫酸ナトリウムしかない時は、まず水をかけ亜硫酸ナトリウム濃度を3倍以上に希釈してから粉体を少しずつ散布し中和する。

注意1) 濃度の高いままの製品に粉体亜硫酸ナトリウムを散布すると、二酸化塩素ガスが発生するので行なわないこと。

注意2) 中和剤として酸性亜硫酸ナトリウム (NaHSO_3)、チオ硫酸ナトリウム (別名: ハイポ $\text{Na}_2\text{S}_2\text{O}_3$) を使用すると、酸性になり二酸化塩素ガスを発生するので使用しないこと。

7. 取扱い及び保管時の注意

取扱い

吸い込んだり、眼、皮膚に触れないように適切な保護具を着用する。

作業衣に付着した場合は、その汚れをよく洗い落とす。

使用に際し、二酸化塩素ガスを発生する場合は、十分に換気する。

乾燥して白い粉が噴いたように結晶が析出した場合は、発火の危険があるので水洗い又は水拭きを行い、結晶を取り除く。結晶に摩擦、衝撃を与えてはならない。

保管

保管に関しては直射日光、火気を避け冷暗所に貯蔵する。酸類、硫黄、硫黄化合物、油脂、その他可燃性物質、酸化されやすい物質と一緒に貯蔵しない。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 設定されていない。

許容濃度 NaClO_2 には許容濃度は設定されていないが、分解して発生する二酸化塩素ガスについては、日本産業衛生学会 (2000 年度版) 設定されていない。

ACGIH (2000 年度版) 二酸化塩素ガス TWA 0.1ppm STEL 0.3ppm

設備対策 屋内作業場においては局所排気装置を使用する。

呼吸用保護具 塩素用防毒マスク、自給式空気呼吸器、エアラインマスク

保護眼鏡 ゴーグル型保護眼鏡

保護手袋 ゴム (プラスチック) 手袋

保護衣 長袖作業衣、ゴム製前掛け、ゴム長靴

9. 物理的及び化学的性質

外観等 微黄色透明液体

pH アルカリ性

比重 1.21~1.23 (15°C)

10. 安定性及び反応性

アルカリ性常温では安定だが、長期間高温での保管や直射日光、紫外線により徐々に分解し二酸化塩素を発生する可能性がある。

酸やアルデヒド等と混合すると二酸化塩素を急激に発生し、高濃度になると分解爆発の危険がある。

溶液が作業衣等に付着し乾燥した時、煙草の火や厨房具等の熱源に接触すると着火し、火傷する恐れがある。

1 1. 有害情報 OECD 基準

刺激性（眼） 粘膜を刺激し、炎症を起こす。

刺激性（皮膚） 皮膚、粘膜については刺激性があり、炎症を起こす。

急性毒性 LD50（ラット：経口）：165 mg/kg

LD50（マウス：経口）：350 mg/kg

LD50（モルモット：経口）：300 mg/kg

亜急性毒性 亜塩素酸ナトリウムとしてA/J 及びC75L/J マウスに飲料水中濃度100ppm・120 日間投与した実験で、赤血球の浸透圧抵抗性の低下、血球容積の増大、G6PD 値の上昇がみられた。

慢性毒性 亜塩素酸ナトリウムとしてA/J 及びC75L/J マウスに飲料水中濃度100ppm・120 日間投与した実験によれば病理組織学的に腎の変化は認められなかった。

変異原性 微生物突然変異試験（－）

染色体異常誘発試験（＋）

1 2. 環境影響情報

情報なし

1 3. 廃棄上の注意

廃棄する場合は、関係法規に従って焼却炉で少量ずつ焼却するか、又は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物業者に委託する。

1 4. 輸送上の注意

「7. 取扱い及び保管時の注意」による他、運搬に際しては容器・包装に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

長時間の直射日光及び、雨等を避けるよう箱型積載車がよい。

1 5. 適用法

船舶安全法：危告示 別表3 腐食性物質、計量法。

1 6. その他の情報

危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには充分注意して下さい。また、含有量、物理化学的性質などは、一般的な数値で保証値ではありません。

引用文献 原料安全データシート